

## 【議事録】2021年2月18日 原子力学会遮蔽標準作業会 第30回作業会

1. 日時:2021年2月18日(木) 14:30-16:30
2. 場所:Web(Teams)
3. 出席者:【敬称略:順不同】(ATOX)坂本、河野、(中部電力)島本、(日立GE)月山、竹生(竹中工務店)前中、鈴木、(日環研)大石、(CTC)石川、天野、(清水建設)小迫、(原安技センター)吉田、(海技研)平尾、(フジタ)木村、(東芝ESS)松山、(MHI NS)中田(文責)

### 4. 議事

2021.1.22 の第 29 回作業会の協議結果に基づき、標準本文検討状況、原子力学会及びWS 発表スライド作成状況、組成検討状況について協議し、今後の標準検討・作業方針を決定した。

### 【配布資料】

- ① 2021.01.22 #29 遮蔽材料標準作業会 議事録(R0):中田
- ② 標準本文案 R21:木村主査
- ③ 2021年春の年会(17)+WS用スライド(DD):中田
- ④ 2月18日材料組成(1)メモ:奥野幹事

### 【決定事項】

#### (1)本文

- ① 目的を「遮蔽計算」のための組成であるイメージが読めるように用語統一するなど、記載を見直す。
- ② 組成の用語を統一する。「規定組成」、「組成標準」など、組成を示す様々な表現が混在している。
- ③ 「用語」の節については、学会標準の用語集にあるものは掲載不要の筈なので、学会標準用語集作成メンバーの奥野幹事が別途確認する。また、大成建設谷口委員が以前に用語検討しているため、奥野幹事、谷口委員と木村主査で相談してドラフトする。
- ④ 組成を規定する密度  $2.1\text{g}/\text{cm}^3$  について、建築学会所属委員及び建築分野の委員と相談して定義の説明表現を決定する。まずは、竹中工務店前中委員にて記載案を2月末までにドラフトする。
- ⑤ 密度変化による組成換算式は、 $2.1\text{g}/\text{cm}^3$  を下回る場合にも適用可能な式とする。
- ⑥ 密度による「組成補正式」では誤った数値を正すイメージとなるので、「組成換算式」と表現を変える。
- ⑦ 本文の内容をサポートする説明は「附属書」に掲載し、検討のベースとなる種々データの事前検討を「解説」に載せる立て付けで、本文で引用する。

## **(2) 原子力学会及び WS 発表スライド**

- ⑧ 原安技センター「遮蔽設計マニュアル」の半価層及び 1/10 価層との整合性を確認する必要有。医療用加速器や小規模事業者の線源の設置位置の遮蔽設計や、許認可用遮蔽計算では、放射線束計算を行うのではなく、半価層及び 1/10 価層で線量評価を実施している。これとの整合性は、標準の発行に際して重要。
- ⑨ 数年前の学会発表で同様のコメントあり。
- ⑩ 今回の発表では、技術的な整合性確認は時間的に載せることはできないが、標準の附属書には整合性検討を載せるとともに、例えば標準案が完成した時の原子力学会での企画セッションでは、整合性を示すこととする。
- ⑪ 本日紹介した組成に対して ATOX 坂本委員にて EGS4 コードで BF 試算を行っている。また重コンの BF も試算中。

## **(3)組成検討状況**

安藤ハザマの奥野幹事が、緊急業務(2/12 福島沖地震対応)で欠席となったため、資料の紹介のみ。材料組成 WG で議論が進めて、メール連絡する。

## 5. 次回

次回作業会は、3/29(月)am を候補として出欠調査し、出席者が少ない場合は、4 月の候補日を検討する。

以上